

専徳寺報

第472号

令和5年3月11日発行

浄土真宗本願寺派

専徳寺

〒740-0044 岩国市通津2764
☎0827-38-1124 FAX38-1000

①<http://sentokuji-iwakuni.net/>

専徳寺

検索



②動画ちゃんねる「ひかりといのちきわみなき」

ついでに札拝

(月初めはお寺参りから)

— 毎月一日・午前9時より45分間 —

春季讚仏会法要

御案内

春くれば梅にとまり鶯の
法ホトきけようの声をたのしむ



長かった寒い冬も終わりました。春の到来、春のお彼岸です。お聴聞にはもってこいの季節です。ご参詣お待ちしております。

日時

3月24日(金)

昼1時半〜3時半

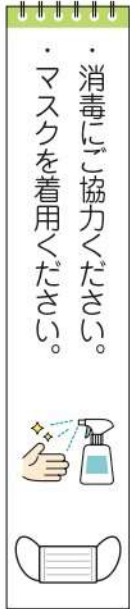
3月25日(土)

昼1時半〜3時半

講師

本願寺布教使

紫藤 常昭 師 (福岡市)



・消毒にご協力ください。
・マスクを着用ください。

参拝セット (念珠・聖典・式章・聴聞カード)

どうぞお持ちください。



光いっぱい

青色青光 黄色黄光
赤色赤光 白色白光
男からは男の光
女からは女の光
年寄からは年寄の光
若い人からは若い人の光
やんちゃ者はやんちゃ者の光
おとなしい者からはおとなしい者の光
すべての者が
それぞれの光を存分に放ちあって
学校中 光いっぱい

(東井 義雄)



※東井義雄(1912~1991)さんは教育者で浄土真宗の僧侶(兵庫県豊岡市の東光寺住職)です。

※「青色青光……白色白光(青い色には青い光……白い色には白い光)」は『阿弥陀経』に出てくるお言葉です。

寺内だより

●み仏にいだかれて〔葬儀勤修〕



【法句】(262) あなたが虚しく過ぎたきょうという日は きのう死んでいったものが あれほど生きたいと願ったあした (小説『カシコギ』)

専徳寺納骨堂受付中

法義相続に大切にお供えさせていただきました。

●ありがとうございます [永代経懸志]

●ご恩を偲び [法事勤修] 12月26日〜3月6日

●おめでとうございます

●法物下附式 [入仏式]

お給仕の慶び、一入に存じます。

●ご報告いたします

●御正忌報恩講 [1月17日〜19日]

【講師】 瀧淵良孝師、住職、前任職

【お供え】 白田憲光 (みかん)

一年ぶりの法要、久しぶりに夜座をつとめることができました。

●新総代

昨年末、ご体調等の理由で中崎哲夫総代(南町)、石原秀昭法要総代(柳井)が退任されました。長い間、法座や諸行事に携わってくださったご恩に深く感謝申し上げます。

なお新しい総代に野上統生様(泉迫)と藤本昭範様(保津)が、また法要総代には村本章二様(由宇)が引き受けてくださいました。専徳寺の法義繁盛にご尽力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

「折込広告」

先月の26日(日)、県内の一般紙に浄土真宗の折込広告が入りました(下の写真)。住職も作成に携わりましたので、この度の寺報と一緒にお届けします。



●慶讃法要

「親鸞聖人ご誕生850年・立教開宗800年」

今年には宗祖親鸞聖人のご誕生から850年目にあたります。また、その翌年には親鸞聖人が、『教行信証』六巻を著され、浄土真宗のみ教えを開かれてから800年をお迎えする年です。

ご本山(西本願寺)では、今月から5月まで、5期30日間にわたり慶讃法要が勤まります。それにあわせて京都国立博物館「親鸞展」等、様々なイベントも京都で行われます。よろしければお出かけしてみてください。



●選択集通津録

安永8年(1779年)、芸轍(安芸芸学派)の祖として有名な深諦院慧雲師が、当山専徳寺にて『選択集』の講義をされたものの筆録です。この度、その貴重な写本を偶然入手できました。法座にてご披露させていただきます。

『選択集』は法然聖人の著です。その後述に、希に津を問ふものには、示すに西方の通津をもつてす(ごくまれに迷いを出る法を問う者がいれば、私は西方浄土の法をもつて示す)

とあり、「通津」という語句が登場します。「岩国市通津」の漢字名のルーツとも考えられます。

